

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンジン		
○保護者評価実施期間	2025年11月21日 ~ 2025年12月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年11月21日 ~ 2025年12月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	年月日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児や保護者にとって「安心・安全」な場所であろうと努力している	幼児期の子どもさんたちへの言葉かけなどの方法について「CARE」プログラムをスタッフ全員が研修して支援に取り組んでいる。	安心で安全な場所となるように、研修や訓練を重ねてスタッフ一同で支援や日々の送迎などに取り組む。今以上に利用児と良く向き合い特性を知る。ご家族との共有の場を設ける。
2	職員間の関係が良好である	職員間で支援について常に話し合い意見交換しながら、お互いを理解し、働きやすい環境を作つて行っているところである。	働きやすい環境になるために会議の方法や理念などを深く理解し現場で活かせるようにすることで、職員同士の考え方を理解しあいながら日々働いていける優しい関係になれるように努力する。
3	医療的ケア児さんの受け入れを行っている	主たる介護者のお母さんに事業所に来ていただき教えてもらいながら徐々に看護師が医療的ケアを行うことが出来るようになっていっている。	1日に一人の受け入れなので、2人までできるようになるとと、医ケア児さんと他の利用児さんや向かいのこども園の子どもたちとの触れ合いもしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流の場が少ない。	プライバシーをまず優先したため、なかなか保護者の方々を対面させることの難しさがあった。	保護者の意見を聴きながら、見学などに来ていただいたら、研修のお説明などをしていく
2	まだ1年に満たない事業所であるため、未経験の職員も多い	未経験であることで、研修を重ねて利用児と向き合わないと、わからないことが多い	研修をたくさん取り入れて行く
3			